



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社インプレスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9479 URL <https://www.impressholdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 山手 章弘 (TEL) 03-6837-5000(代)
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,283	△5.7	△192	—	△166	—	△182	—
2023年3月期第1四半期	3,480	2.7	103	△76.5	126	△73.0	65	△83.6

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △178百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 73百万円(△80.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△5.40	—
2023年3月期第1四半期	1.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	14,933	9,306	61.3
2023年3月期	15,944	9,654	59.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 9,160百万円 2023年3月期 9,505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,150	△1.3	△250	—	△200	—	△250	—	△7.39
通期	15,500	2.2	150	△61.2	250	△49.4	100	△73.4	2.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P.10「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	37,371,500株	2023年3月期	37,371,500株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	3,540,799株	2023年3月期	3,540,159株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	33,831,135株	2023年3月期1Q	33,456,884株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、事業セグメント区分及び主要な関係会社の異動は以下のとおりであります。

その他セグメントの株式会社iDMPは、2023年4月に株式会社クリエイターズギルドへ吸収合併されたことに伴い、連結の範囲から除外しております。

事業セグメント区分	主要な事業区分		主要な事業内容	主要な会社
IT (IT分野に関するコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス、ターゲットメディア等	㈱インプレス ㈱IAD
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
	プラットフォーム事業		出版流通プラットフォームの開発・運営等	
音楽 (音楽分野に関するコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱リットーミュージック
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
	プラットフォーム事業		ECプラットフォーム・出版流通プラットフォームの開発・運営等	
デザイン (デザイン分野に関するコンテンツ事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱エムディエヌコーポレーション
山岳・自然 (山岳・自然分野に関するコンテンツ事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱山と溪谷社 ㈱原の小屋
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作、宿泊サービスの提供	
航空・鉄道 (航空・鉄道分野に関するコンテンツ事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	イカロス出版㈱ ㈱天夢人
		ソリューション	パートワーク等の受託制作	
モバイルサービス (モバイル関連のコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱ICE
		ソリューション	電子書籍ファイルの受託制作	
	プラットフォーム事業		電子コミックプラットフォームの開発・運営等	
その他			出版・電子出版、企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作、ECプラットフォーム・出版流通プラットフォームの開発・運営、グループ各社の出版物流・販売管理等	㈱近代科学社 ㈱PUBFUN ㈱クリエイターズギルド(注) ㈱シフカ ㈱IPGネットワーク Impress Business Development(同)
全社			グループ経営・財務戦略の策定 グループ各社の経営管理	㈱インプレスホールディングス(当社)

(注) その他セグメントの株式会社クリエイターズギルドは、2023年7月に株式会社インプレス・デジタル・バリューズに商号変更しております。

(当第1四半期連結累計期間の業績全般の概況)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

また、文中の事業区分別売上高は、外部顧客への売上高を、事業セグメントの売上高は、セグメント間の内部振替高を含んだ売上高をそれぞれ記載し、セグメント損益は、営業損益をベースとしております。

当第1四半期連結累計期間につきましては、シフカの業績を取り込んだことにより、ソリューション事業は増収となりましたが、出版・電子出版で、既刊書籍の販売の減少、新刊刊行点数の減少により減収したことに加え、不透明な景気動向や市況感の変化により、デジタル及びターゲット広告が減収となり、コンテンツ事業の売上高は前年同期（2,780百万円）に比べ4.2%減少し、2,663百万円となりました。プラットフォーム事業につきましては、コンテンツホルダーとの協業による電子コミックプラットフォーム事業において、主力サービスの取扱は堅調に推移したものの、一部サービスが終了となった影響等で、売上高が前期（699百万円）に比べ11.4%減少し、619百万円となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期（3,480百万円）に比べ5.7%（196百万円）減少し、3,283百万円となりました。営業利益につきましては、減収とコンテンツ事業等の収益性の悪化に加えて、販売管理費が増加したことにより、前年同期（103百万円）に比べ利益が295百万円減少し、192百万円の損失となりました。経常利益につきましては、前年同期（126百万円）に比べ利益が292百万円減少し、166百万円の損失となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期（65百万円）に比べ利益が248百万円減少し、182百万円の損失となりました。

(セグメント別の概況)

① IT

ITセグメントの売上高につきましては、既刊書籍の出荷が減少しましたが、ChatGPT関連の新刊書籍が大きなヒットとなったこと等で、出版・電子出版は前年同期（575百万円）に比べ4.7%増加し602百万円となりました。また、デジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」（<https://www.watch.impress.co.jp/>）において、広告市況の変化によりネットワーク広告の収入が減少し、ネットメディア・サービスは前年同期（397百万円）に比べ6.4%減少し372百万円となりました。ターゲットメディアは、イベント収入は堅調な推移となったものの、オンラインマーケティング需要の縮小によりターゲット広告が低調に推移し、前年同期（251百万円）に比べ16.9%減少し209百万円となりました。ソリューション事業においては、海外受託案件が堅調に推移し、前年同期（90百万円）に比べ13.6%増加し102百万円となりました。これらの結果、コンテンツ事業の売上高は前年同期（1,315百万円）に比べ2.2%減少し、1,286百万円となりました。

また、プラットフォーム事業につきましては、パートナー出版社の電子出版及び書籍の販売が堅調に推移し、売上高は前年同期（67百万円）に比べ1.8%増加し68百万円となりました。

以上により、「IT」の売上高は、前年同期（1,389百万円）比2.2%減の1,359百万円となりました。セグメント利益は、減収と収益性の低下に加えて販売管理費が増加したことにより、前年同期（258百万円）と比べ172百万円減少し、85百万円となりました。

② 音楽

音楽セグメントの売上高につきましては、書籍の刊行点数が減少したものの、音楽アーティスト関連のムック本が好調に推移したことに加え、ライブイベント等が活性化中、アーティスト関連の受託案件が拡大し、コンテンツ事業の売上高は前年同期（369百万円）に比べ5.7%増加し、390百万円となりました。

また、プラットフォーム事業につきましては、楽器マーケットプレイス「デジマート」（<https://www.digimart.net/>）における楽器店からの決済サービス収入が増加したものの、パートナー出版社の販売が減少したことにより、売上高は前期（122百万円）に比べ13.3%減少し、106百万円となりました。

以上により、「音楽」の売上高は、前年同期（493百万円）比0.7%増の496百万円となりました。セグメント利益は、収益性の改善により、前年同期（38百万円の損失）と比べ損失が25百万円減少し、12百万円の損失となりました。

③ デザイン

デザインセグメントの売上高につきましては、海外版權収入が好調に推移したものの、既刊書籍の返品が増加及び刊行点数の減少等により、コンテンツ事業は大幅な減収となりました。

以上により、「デザイン」の売上高は、前年同期（235百万円）比31.9%減の160百万円となりました。セグメント利益では、販売管理費は減少したものの減収と収益性の悪化により、前年同期（18百万円の損失）と比べ損失が25百万円増加し、43百万円の損失となりました。

④ 山岳・自然

山岳・自然セグメントの売上高につきましては、雑誌販売が堅調に推移、社会生活の正常化を背景に自治体等の受託案件が増加したものの、書籍の刊行点数の減少や既刊書籍の減収等により、コンテンツ事業は減収となりました。

以上により、「山岳・自然」の売上高は、前年同期（336百万円）比3.0%減の326百万円となりました。セグメント利益では、減収と収益性の低下に加えて販売管理費が増加したことにより、前年同期（2百万円の利益）と比べ利益が37百万円減少し、34百万円の損失となりました。

⑤ 航空・鉄道

航空・鉄道セグメントの売上高につきましては、雑誌・ムックは刊行点数の絞り込みにより減収となったものの、電子出版の投入タイトルの増加等による増収に加え、書籍強化の方針に沿って刊行点数を拡大、既刊書籍の販売も堅調に推移したことで、コンテンツ事業は増収となりました。

以上により、「航空・鉄道」の売上高は、前年同期（303百万円）比7.1%増の324百万円となりました。セグメント利益では、増収したものの販売管理費等が増加したことにより、前年同期（47百万円の損失）と比べ14百万円損失が増加し、62百万円の損失となりました。

⑥ モバイルサービス

モバイルサービスの売上高につきましては、電子出版の販売減による減収により、コンテンツ事業の売上高は前期（52百万円）と比べ27.6%減少し、37百万円となりました。

プラットフォーム事業につきましては、コンテンツホルダーとの協業による電子コミックプラットフォーム事業は、主力サービスの取扱が堅調に推移したものの、一部サービスの終了等により、売上高は前期（417百万円）と比べ14.2%減少し、358百万円となりました。

以上により、「モバイルサービス」の売上高は、前年同期（471百万円）比15.8%減の397百万円となりました。セグメント利益では、収益性が改善し販売管理費は減少したものの、減収により、前年同期（99百万円）と比べ7百万円減少し、91百万円となりました。

⑦ その他

その他セグメントにつきましては、個人向けPOD出版プラットフォームサービス「ネクパブ・オーサーズプレス」が低調に推移したものの、シフカの業績を取り込んだことによる増収等により、売上高は前年同期（286百万円）比37.3%増加の393百万円となりました。セグメント利益では、増収に加えて収益性が改善したもののプラットフォーム事業の新規開発に関わる投資の増加等により、前年同期（11百万円）と比べ58百万円利益が減少し、46百万円の損失となりました。

⑧ 全社

全社区分につきましては、純粋持株会社である当社のみが属しており、グループ会社からの配当、情報システム等の経営インフラ使用料の手数料収入や経営管理業務の受託を売上高として計上し、経営インフラ等の運営に係る費用を負担しております。

全社区分の売上高は、グループ会社からの配当収入の減少等により、前年同期（783百万円）比19.4%減の631百万円となりました。セグメント利益では、販売管理費が減少したものの、減収により、前年同期（237百万円）と比べ54百万円減少し、183百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、季節的変動要因による受取手形、売掛金及び契約資産の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,011百万円減少し14,933百万円となりました。

負債につきましては、季節的変動要因による仕入債務等の減少や賞与引当金の減少、有利子負債の返済等により、663百万円減少し5,626百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払いによる減少に加えて、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により、347百万円減少し9,306百万円となりました。

自己資本は9,160百万円となり、自己資本比率は61.3%と前連結会計年度末(59.6%)と比べ1.7ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結会計期間及び上半期の業績動向等を勘案し、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を修正いたします。

当第1四半期連結累計期間につきましては、電子コミックプラットフォーム事業は調整局面にありながら、想定を上回る推移となったものの、メディア事業において、出荷減と返品増により既刊書籍の販売が低迷、市況感の変化によりデジタル及びターゲット広告の収入が落ち込んだことで、期首の連結業績予想を大きく下回る見通しとなりました。

また、第2四半期においても、既刊書籍の返品の増加については落ち着きつつあるものの、デジタル及びターゲット広告の市況感については継続する可能性があり、また新刊刊行の遅れ等が想定されることから第2四半期連結累計期間の業績予想を修正しております。

なお、通期の連結業績予想につきましては、主に第2四半期連結累計期間の業績予想の修正に伴う修正であり、下半期見通しについては、現時点では大きな修正を加えておらず、上半期の新刊刊行の遅れのリカバリーと想定を上回る推移となっている電子コミックプラットフォーム事業の業績動向の上振れを加味しております。

連結業績予想(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
2023年5月11日 発表予想(A)	7,500	50	100	60	1.77円
本日(2023年8月10日) 発表修正予想(B)	7,150	△250	△200	△250	△7.39円
増減額 (B-A)	△350	△300	△300	△310	—

連結業績予想(通期)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
2023年5月11日 発表予想(A)	15,850	400	500	350	10.35円
本日(2023年8月10日) 発表修正予想(B)	15,500	150	250	100	2.96円
増減額 (B-A)	△350	△250	△250	△250	—

※ 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、さまざまな不確定要素が含まれております。実際の業績につきましては、今回の予想と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,983,589	5,983,118
受取手形、売掛金及び契約資産	4,428,274	3,443,741
商品及び製品	1,307,848	1,435,156
仕掛品	214,582	224,815
返品資産	278,114	181,539
その他	1,179,336	1,115,870
貸倒引当金	△621	△606
流動資産合計	13,391,123	12,383,635
固定資産		
有形固定資産	446,017	428,444
無形固定資産		
ソフトウェア	269,841	297,932
のれん	127,804	119,816
その他	14,969	14,963
無形固定資産合計	412,615	432,712
投資その他の資産		
投資有価証券	749,759	745,783
繰延税金資産	472,448	472,432
その他	472,452	470,080
投資その他の資産合計	1,694,661	1,688,296
固定資産合計	2,553,293	2,549,453
資産合計	15,944,417	14,933,089
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,632,631	1,329,942
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	103,125	103,125
未払法人税等	82,800	28,395
返金負債	547,316	408,512
賞与引当金	143,000	37,248
役員賞与引当金	—	11,556
その他	1,565,022	1,513,815
流動負債合計	4,423,895	3,782,595
固定負債		
長期借入金	184,375	150,000
退職給付に係る負債	1,564,340	1,589,719
長期末払金	62,536	50,661
その他	55,148	53,898
固定負債合計	1,866,400	1,844,280
負債合計	6,290,296	5,626,875

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,341,021	5,341,021
資本剰余金	1,683,480	1,683,480
利益剰余金	3,149,549	2,797,562
自己株式	△631,364	△631,503
株主資本合計	9,542,686	9,190,560
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△212	3,738
退職給付に係る調整累計額	△36,662	△34,146
その他の包括利益累計額合計	△36,875	△30,408
非支配株主持分	148,310	146,061
純資産合計	9,654,121	9,306,213
負債純資産合計	15,944,417	14,933,089

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,480,085	3,283,134
売上原価	2,105,327	2,100,685
売上総利益	1,374,758	1,182,448
販売費及び一般管理費	1,271,294	1,374,832
営業利益又は営業損失(△)	103,463	△192,383
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	469	478
持分法による投資利益	17,425	24,308
為替差益	1,099	119
その他	5,025	2,518
営業外収益合計	24,022	27,426
営業外費用		
支払利息	1,198	1,225
投資有価証券評価損	—	516
その他	180	5
営業外費用合計	1,379	1,747
経常利益又は経常損失(△)	126,106	△166,704
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	126,106	△166,704
法人税、住民税及び事業税	57,302	18,733
法人税等調整額	934	△358
法人税等合計	58,237	18,374
四半期純利益又は四半期純損失(△)	67,868	△185,079
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,410	△2,248
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	65,458	△182,830

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	67,868	△185,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△473	3,950
退職給付に係る調整額	6,460	2,516
その他の包括利益合計	5,986	6,467
四半期包括利益	73,855	△178,612
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	71,445	△176,363
非支配株主に係る四半期包括利益	2,410	△2,248

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	調整額 (注)3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	I T	音楽	デザイン	山岳・自然	航空・鉄道	モバイル サービス	計			
売上高										
コンテンツ事業	1,315,040	369,389	231,199	334,091	303,046	52,152	2,604,919	175,222	—	2,780,141
メディア& サービス事業	1,224,701	327,981	231,199	323,204	293,275	34,708	2,435,070	59,434	—	2,494,504
出版・電子出版	575,417	300,536	227,539	308,837	285,480	34,708	1,732,521	59,434	—	1,791,955
ネットメディア ・サービス	397,608	27,444	3,659	14,366	7,794	—	450,873	—	—	450,873
ターゲット メディア	251,675	—	—	—	—	—	251,675	—	—	251,675
ソリューション 事業	90,339	41,407	—	10,887	9,771	17,444	169,848	115,787	—	285,636
プラットフォーム 事業	67,397	122,438	—	—	—	417,778	607,614	92,329	—	699,944
顧客との契約から 生じる収益	1,382,438	491,828	231,199	334,091	303,046	469,931	3,212,534	267,551	—	3,480,085
外部顧客への売上高	1,382,438	491,828	231,199	334,091	303,046	469,931	3,212,534	267,551	—	3,480,085
セグメント間の内部売 上高又は振替高	7,082	1,302	4,743	2,440	18	2,006	17,595	18,699	△36,295	—
計	1,389,521	493,130	235,942	336,532	303,065	471,937	3,230,129	286,251	△36,295	3,480,085
セグメント利益又は セグメント損失(△)	258,675	△38,350	△18,079	2,819	△47,583	99,260	256,741	11,862	△165,140	103,463

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・電子出版、企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作、出版流通プラットフォームの開発・運営等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、調整を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△165,140千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△36,295千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△527,928千円、セグメント間の営業費用の取引消去399,083千円が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、前第1四半期連結会計期間に、当社の100%子会社である株式会社インプレスR&Dと株式会社メディアドゥを新設分割会社とし、共同新設分割を実施しております。その結果、前第1四半期連結会計期間より新設分割設立会社の株式会社PUBFUNを、連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、前第1四半期連結累計期間において159,755千円であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	I T	音楽	デザイン	山岳・自然	航空・鉄道	モバイル サービス	計			
売上高										
コンテンツ事業	1,286,269	390,592	155,296	323,811	324,693	37,782	2,518,447	144,770	—	2,663,217
メディア& サービス事業	1,183,633	336,012	155,296	304,501	312,568	21,780	2,313,793	30,586	—	2,344,379
出版・電子出版	602,210	307,670	153,936	289,391	306,247	21,780	1,681,237	26,899	—	1,708,137
ネットメディア ・サービス	372,226	28,342	1,360	15,109	6,320	—	423,359	3,687	—	427,046
ターゲット メディア	209,196	—	—	—	—	—	209,196	—	—	209,196
ソリューション 事業	102,635	54,579	—	19,310	12,125	16,001	204,654	114,183	—	318,837
プラットフォーム 事業	68,607	106,126	—	—	—	358,303	533,037	86,878	—	619,916
顧客との契約から 生じる収益	1,354,877	496,719	155,296	323,811	324,693	396,086	3,051,484	231,649	—	3,283,134
外部顧客への売上高	1,354,877	496,719	155,296	323,811	324,693	396,086	3,051,484	231,649	—	3,283,134
セグメント間の内部売 上高又は振替高	4,480	2	5,337	2,778	24	1,343	13,967	161,389	△175,356	—
計	1,359,357	496,722	160,633	326,590	324,718	397,429	3,065,451	393,038	△175,356	3,283,134
セグメント利益又は セグメント損失(△)	85,745	△12,402	△43,825	△34,786	△62,454	91,277	23,554	△46,324	△169,612	△192,383

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・電子出版、企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作、ECプラットフォーム・出版流通プラットフォームの開発・運営、グループ各社の出版物流・販売管理等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、調整を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△169,612千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△175,356千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△417,342千円、セグメント間の営業費用の取引消去423,085千円が含まれております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結会計期間において、株式会社Impress Professional Worksは、グループの組織再編に伴い、全社機能を株式会社インプレスホールディングスに事業譲渡しました。譲渡した全社機能については引き続き調整額に含めております。また、株式会社Impress Professional Worksは、グループ共通の事業基盤(ビジネス・プラットフォーム)の構築・運営に特化した会社へ再編したことにより、称号を株式会社IPGネットワークに改め、「その他」に含めております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。